

# くにみ 議会だより

No.167  
12月議会号



## 町の安心安全を願って

消防団と女性防火クラブのみなさんが一堂に会して出初式が行われました。  
明るいファンファーレで町の安心安全も前途洋々な予感！ (撮影 浅野富男)

### 12月定例会

### 地方創生への取り組みが

本格化(平成27年度補正予算) P2

子どものいじめ防止条例など新たに条例を制定 P4

一般質問(町長のまちづくりに向けたビジョンなど6人が登壇) P7

誰にでも「伝わる」広報誌づくりを目指して

(全国町村議会広報研修会) P14

傍聴者からの声「女性の傍聴者が増えて良い傾向」 P14

# 地方創生への取り組みが本格化

## 調査設計などの委託料3100万円を計上

12月議会定例会は12月8日から11日まで4日間の会期で開かれました。今定例会には、地方創生を推進するための委託料を増額する補正予算や防犯カメラの設置、運用に関する条例、子どものいじめ防止条例など10議案が提出され、すべて原案どおり可決されました。

一般質問では6人の議員が登壇し、12項目にわたって町政をただしました。



会、英語弁論大会が県大会出場である。

### ふるさと納税者への返礼品について問う

(阿部泰藏議員)

**問** ふるさと納税者に対する農産物の返礼品に16万3000円とあるが、件数と対応について伺う。

**総務課長** 平成27年度の現在105件、508万円ほどになっている。内容は、特産品としてモモ、あんぼ柿、りんごなどをお礼としてお返ししている。

### 防火水槽設置事業債の大幅増の理由は

(村上正勝議員)

**問** 防火水槽設置事業債で、当初650万円だったものが補正後840万円と大幅増になったのはなぜか。

**住民生活課長** 大字内谷字西地内で行う工事

についてであり、今回の復旧工事にはなかった舗装のあったため、資材などの諸経費の上昇も含め、192万円の補正をした。

### 電気料が増えた理由は

(浅野富男議員)

**問** 役場庁舎の電気料131万円の増額について理由を伺う。

**総務課長** 以前の金額を見込んで当初予算を組んだが、基本料金の上昇にもない、今後の見込みも含めて不足が生じたため増額をした。

## 質疑

### 一般会計

#### 中学校部活動補助金の内容は

(佐藤定男議員)

**問** 中学校部活動補助金204万円の競技・種目などの具体的内容は、

**教育次長** おもなものは、剣道・卓球が東北大

## 平成27年度一般会計 補正予算(第3号)のおもな内容

### 【おもな事業】

• 町債(借金)返済	2億1150万円
• 地方創生を推進するための委託料	3100万円
• 松くい虫防除の事業費	1810万円
• あんぼ柿加工施設への補助金	779万円
• 農地集積協力金交付金(小坂ほ場整備地内)	733万円
• 教科書改訂に対応する教職員指導書購入	286万円
• 9月集中豪雨による農道・林道の災害復旧費	284万円
• マイナンバー制度の中間サーバーについての負担金	209万円
• 中学校部活動補助金(東北・県大会出場など)	204万円
• 災害援護資金の返済	195万円
• 防火水槽設置費(内谷地区)	192万円
• 公用車の更新費用	190万円
• その他、人・農地プラン作成支援業務委託など	1289万円
計	3億421万円

### 【おもな財源】

• 前年度からの繰越金	2億1150万円
• 町債(借金)	5940万円
• 地方交付税	2829万円
• 基金繰入金など	2831万円
• 国・県からの補助金(社会資本整備総合交付金事業分の減額など)	-2329万円
計	3億421万円

### ■ 町債(借金)の残高

会計名	26年度末現在	27年度末見込
一般会計	58億7400万円	72億1174万円

※災害援護資金は含まない。

### ■ 財政調整基金(貯金)の残高

会計名	26年度末現在	27年度末見込
一般会計	8億5161万円	6億494万円



## 八島議員に総務大臣感謝状

10月16日、東京都のルポール麹町で、八島博正議員に総務大臣感謝状が贈呈されました。

35年以上議員として在職し、地方自治の発展に顕著な功労があったと認められたもので、12月定例会の席上で伝達されました。



付せんの数だけ国見の良いところが出されました(未来まちづくりワークショップ)

## 公用車の更新時期に定めはあるのか

(阿部泰藏議員)

**問** 公用車の更新で190万円の増額があるが、更新の時期はどのように定めているのか。

**総務課長** 公用車は丁寧にできるだけ長くもたせるように管理をし、耐えられなくなった場合に更新を

している。今回の車輛は17万キロ走行で15年が経過しかなり古いため、安全管理の面から増額をした。

## 機構集積協力金交付事業とは

(八島博正議員)

**問** 機構集積協力金交付事業はどのような事業か。

**産業振興課長** 「人・農地プラン」を作成し

た地域で、農地を集積した面積の割合に応じて国から協力金が出るもの。小坂地区で3月に「人・農地プラン」を作成したことに基づき、ほ場整備をした90ヘクタールのうち集積できた36ヘクタールが対象となって支給される。地域の農業を担う組織などに交付をし、農地保全や環境整備に有効活用をする事業である。

## 条例制定

# 個人番号を利用できる 町独自事務を規定

国見町個人番号の利  
用及び特定個人情報  
の提供に関する条例

(要旨) 番号法に基づき、個人番号を町独自に利用できる事務について、同一地方公共団体の機関間(町と教育委員会)で連携できる事務を規定するもの。  
(反対1、賛成10で可決)

## 個人情報保護の

## 安全性はどの程度か

### 問

(浅野富男議員)

情報漏れが一番心配されるが、どこまで安全性が確保されるのか。町としての対応は。

### 総務課長

特定個人情報を保護する条例で町職員

の責務や取扱いについてセキュリティを守る規定が

されており、それを完全に履行することで安全対策をしていきたい。

### 企画情報課長

システム面で

ネットと個人情報のシステムの分離を徹底し、システムから漏れない、ウイルスなどが入っても情報を外へ出さないようシステムの構成を考えている。

## 討論

### 反対討論

(浅野富男議員)

セキュリティに完全なものはないと言えることから、国民監視を

強め、中小業者の営業を困難にするマイナンバー制度の実施を延期し、マイナンバーの利用拡大は取りやめるべきである。

### 賛成討論

(佐藤定男議員)

マイナンバー制度には不安も報道されているが、国の施策として進められ、今後の情報化社会の中では必要なものである。

## 空家の影響を考え 生活環境の保全を

国見町空家等の適正  
管理及び利用促進に  
関する条例

(要旨) 「空家等対策の推進に関する特別措置法」に基づき、町民の生命、身体または財産を保護するとともに

にその生活環境の保全を図るために制定する。あわせて、空家等の活用を促進するため、施策を総合的かつ計画的に推進し、公共の福祉の増進と地域の振興に寄与することを目的として定めるもの。  
(全員賛成で可決)

## 空家対策協議会の 設立時期は

### 問

(渡辺勝弘議員)

空家対策協議会はいつ頃に設立をして、いつごろから動き出すのか。

### 建設課長

現時点では、検討委員会で作成している

計画の素案作りをしている。計画を最終的に協議会に諮問するので、早ければ1月下旬から2月中旬に協議会を開催したい。

## 建物と土地の所有者が 違う場合の代執行は

### 問

(村上正勝議員)

土地と建物の所有者が別で、事情があつて持

ち主が解体できない場合は、町で代執行できるか。  
建設課長 原則は当事者間の解決であり、町の代執行は大変慎重に判断をせざるを得ないと考えている。

## 公共の場への防犯 カメラ設置等を規定

国見町防犯カメラの  
設置及び運用に関する  
条例

(要旨) 公共の場所での防犯カメラの適正な設置および運用に関して定めること、安全で安心して暮らすことができる地域社会を実現するとともに、町民等の権利利益を保護することを目的として定めるもの。  
(全員賛成で可決)

## プライバシー 保護への対応は

### 問

(渡辺勝弘議員)

防犯カメラの設置で抑止力がアップする反面、プライバシーの侵害の部分が大きくなると思うが、どう対応するのか。

### 建設課長

個人のプライバシーを一番重要に考えている。条例がなければ、道路など町の土地の占用が氾濫する可能性があり、一定のガイドラインを作る必要性から条例を提案した。設置の基準について、録画をすると個人情報や蓄積することになり、きちんと制御をかける必要があると考えており、違反があれば勧告をする。

## 違反による勧告に従わない場合の対処は

### 問

(浅野富男議員)

個人が特定されることもあると思うが、違反による勧告に従わない場合

はどのように対処するのか。

### 建設課長

条例に基づいては勧告となるが、一方で道路法に基づく道路占用の問題があるので、そちらで撤去をし許可の更新はしないことになる。

## いじめ調査の附属 機関の設置を定める

### 国見町子どもの いじめ防止条例

(要旨) いじめ防止対策推進法の趣旨を踏まえ、子どもへのいじめを防止し、町、学校等、保護者、町民および事業所等の責務を明らかにするとともに、いじめが発生した場合の調査を実施する附属機関を設置するもの。(全員賛成で可決)

## 改めて条例を 制定する理由は

### 問

(佐藤定男議員)

以前からのいじめ

防止対策推進法による体制で十分ではないかと思ってるが、改めて条例を制定する理由は。

### 教育長

いじめ防止の施策を行う意味では今までと同じだが、推進法で調査に関わる権限について、地方自治法でも附属機関の設置について「条例の定めによる」との規定があることから、法的な根拠を与えるため、今回条例を制定するものである。

## 条例改正

## 地域の実情に応じた 猶予制度へ

### 町税条例等の一部改正

(要旨) 地方税法の一部改正にもない、猶予制度に関する規定について、地域の実情に応じて一定の事項を条例へ委任することが新たに定められたため、改正する。(全員賛成で可決)

## その他

## 道の駅本体建設 工事へ

### 工事請負契約

(要旨) 道の駅建設第1回工事について、条件付き一般競争入札により13億140万円で「株式会社晃(ひかり)建設」と契約するもの。(全員賛成で可決)

## 建物全般の 契約なのか

### 問

(佐藤定男議員)

今回の契約は建物全般に関わるものなのか、一部は計画として残るのか伺う。

### 建設課長

建物全般ではなく、「活力あるプロ

ジェクト事業」の部分については別途随意契約となる。

## 建設工事はいつまでか

### 問

(阿部泰藏議員)

道の駅建設工事はいつまで行われるのか。最終的には、平成29年2月頃を設定したいと考えている。



工事の無事を祈ってくわ入れの儀  
(道の駅建設工事安全祈願祭)

# 町長の行政報告

## ■東日本大震災からの早急な復旧・復興

- 住宅・宅地除染は、10月8日には現場での作業がすべて終了。現在は、道路、生活圏の森林、事業所などの除染を進め、神社などの除染の準備を進めている。
- 県北浄化センターの汚泥は、溜め置きされた約25,000トンの汚泥のうち、11月末までに約4,338トンが減容化された。
- ホールボディカウンターによる内部被ばく検査は、11月末までに受検した1,004名には健康に影響を与える数値は検出されなかった。引き続き、希望者に検査を継続している。
- 平成27年産米の全量全袋検査は、12月7日まで行われ、64,984袋を検査したが国の基準を超える米は検出されなかった。
- 仮設住宅入居者の移行に向けた町営住宅の修繕は、日渡住宅2戸、南古館住宅2戸へ転居の意向が確認され、その修繕について12月中に発注。
- あんぼ柿の産地再生に向けた取り組みは、原料柿の移動も可能になり、27年産のあんぼ柿加工・出荷量は産地全体で震災前の75%を目標に取り組んでいる。

## ■安全安心な町政の実現

- 空家等対策は、条例案について11月にパブリックコメントを実施。今後、協議会の設置や計画の策定に取り組んでいく。
- 鳥獣被害対策では、町地域農業再生協議会の事業として実施している野生鳥獣の侵入防止柵の設置は、小坂地区で大字泉田から大字内谷までの7.5キロメートル分が完了した。

## ■活力ある町政の実現

- 「道の駅を核とした複合交流施設（里まち文化ステーション）」は、造成工事は10月末で完了し、国道4号線と県道浪江国見線の拡幅工事も順調に進んでいる。建築工事は、一般競争入札により「株式会社晃建設」が落札し、「株式会社渡辺建設」との共同企業体が結成され、12月3日に仮契約を締結。ソフト事業では、献穀米となった「天のつづ」で醸造した日本酒のお披露目を12月15日に開催した。

## ■思いやりのある町政の実現

- 地域密着型特別養護老人ホームとグループホームの施設整備予定事業者の選定については、9月29日に特別養護老人ホーム国見の里を運営する社会福祉法人厚慈会に決定し、平成29年度の開設に向けて施設整備を実施する。
- 町戦没者追悼式は、11月11日に執り行われ、先の大戦で亡くなられた戦没者のご冥福を祈り恒久平和を願った。

## ■町の継続的な維持発展

- 「まち・ひと・しごと創生総合戦略」は、「里まち文化ステーション」「歴史を活かしたまちづくり」を2本の柱に、5年間の計画で取り組むこととした。10月には東邦銀行・福島信用金庫とそれぞれ包括的な連携協定を締結した。
- 歴史を活かしたまちづくりについては、阿津賀志山防塁は、国道4号線北地区と原鍛冶西地区について近く正式に国史跡に追加指定となる運びとなった。
- 域学連携については、福島大学の「内谷地区の集落活性化」では地区の行事に参加しながら10数回の調査を行った。桜の聖母短期大学では「未来まちづくりワークショップ」などの開催や「もも大福」の本格的な商品化へ向けた取り組みで協力している。東京の聖心女子大では国見産もののブランディングについて考察をしている。

# 意見書

12月定例会では意見書1件を全員賛成で可決し、国など関係機関へ送付しました。

## 公立小中学校の教職員数の充実・確保を求める意見書

財政制度等審議会は9年間で教職員定数を3万7千人減とする「教職員定数のベースライン(案)」を公表したが、子どもたち一人ひとりに対応した教育を推進するためにも、教職員数の充実・確保を図るよう求めるもの。

**可決**

# みなさんからの陳情

12月定例会では陳情1件を常任委員会で審査し、結果は以下のとおりとなりました。

陳情	提出者	結果
公立小中学校の教職員数の充実・確保のための意見書の提出を求める陳情書	福島県教職員組合 中央執行委員長 角田 政志 福島県教職員組合 伊達支部 支部長 酒井 克幸	<b>採択 (全員賛成)</b>

～6人の議員が登壇し、活発な議論を展開～



# 町政を問う

一般質問

## 12月定例会

一般質問とは、議員が町政全般にわたり執行状況や将来に対する方針など、諸問題について質問を行い、政治姿勢を明らかにするものです。

議員	質問事項	ページ
松浦 和子	町長のまちづくりに向けた今後のビジョンは	8
	子育て世代に魅力ある行政サービスを	
	認知症初期集中支援チームの設置は	
松浦 常雄	平成28年度予算編成の基本方針は	9
	農作物の今年の出来具合と風評被害対策は	
佐藤 定男	立派な新庁舎にふさわしい職員の対応が求められるが	10
	町道・林道の整備に具体的な対応を	
	人事評価制度をどう進めていくのか	
渡辺 勝弘	今後の防災訓練はどう進めていくのか	11
村上 正勝	都市部の方が住みたいと思うまちづくりへの考えは	12
	町の活性化のためにふるさと納税の活用を	
浅野 富男	地方版総合戦略の策定の経過は	13

質問、答弁は要約して掲載しています。会議録全文は、町議会ホームページに掲載予定です。[<http://www.town.kunimi.fukushima.jp/groups/gikai/>]

国見町議会ホームページ → 会議録検索 → 会議録検索システム → 会議録検索システムへ

# Q 町長のまちづくりに向けた 今後のビジョンは

## A 復旧復興を最重要課題とし、町の 維持発展に対応していく



松浦和子議員

**問** 平成28年度を  
町長就任1期目  
の締めくくりの年とし  
ての抱負と、まちづく  
りに向けた今後のビジ  
ョンについて伺う。

**町長** 震災からの復  
旧復興を進める  
ことを最重要課題とす  
る。また、道の駅整備

とともに、「歴史まち  
づくり計画」ではハー  
ド面も含めて取り組  
む。さらに、「地方創  
生総合戦略」と「人口  
ビジョン」の実現に向  
けた取り組みや少子高  
齢化への対応、農林商  
工業の振興、教育の振  
興などで各種事業を推  
進したい。

「生きる力の芽」を育  
むとともに、一人一人  
の育ちをとらえた保育  
計画を作成し、職員の  
共通理解を図っている。  
保護者との信頼関係  
については、質の高い  
保育を目指し各種研修  
に積極的に参加し、保  
護者とのコミュニケーション  
のための、クラス  
ごとのたよりの発行、  
保護者懇談会の開催を  
行っている。保育所は  
家庭の保育を補うとい  
う基本を踏まえ、保護  
者と連携しながら保育  
を進めている。

### 子育て世代に 魅力ある行政 サービスを

**問** 女性の子育て  
支援の立場から  
藤田保育所について伺  
う。

健全育成、性格形成  
の重要な場として、未  
来を担う子どもたちと  
保育士はどのような雰  
囲気づくりと心構えで  
向き合っているか。ま  
た、保護者との信頼関  
係に自信はあるか。

**教育長** 子どもたち  
が持っている  
「生きる力の芽」を育

また、町単独の事業  
として「乳幼児の育成  
支援事業」「くにみ幼  
稚園通園助成事業」が  
ある。

**問** 放課後子ども  
クラブ施設のト  
イレを和式から洋式に  
改修することは、喫緊  
の課題として、来年度  
の計画で可能か。

今後、町子育て支援  
サービスをまとめたパ  
ンフレットを作成し、  
来年度からの周知に努  
めたい。

**幼児教育課長** 児童の健  
康管理の観  
点からも洋式トイレの  
改修について今後も計  
画的に検討していく。

**問** 子育て世代に  
対する行政サ  
ビスの現状を伺う。

**幼児教育課長** 妊婦健診  
の公費負担  
を16回分払い、生後4  
か月までは「乳幼児家  
庭全戸訪問事業」を実  
施している。保育所内  
には「子育て支援セン  
ター」を設置し、「一時  
預かり事業」などを  
行っている。

**認知症初期集中  
支援チームの  
設置は**

**問** 国は平成30年  
4月までに全国  
の自治体に「認知症初  
期集中支援チーム」を  
設置予定だが、町とし  
ては支援チームの設置  
に向けて作業を始めた  
のか。

**保健福祉課長** 公立藤田  
総合病院に  
新たに設置された認知  
症高齢者医療対策室と  
連携し、認知症初期集  
中支援チームの設置に  
向けた相談・検討を始  
めたところである。検  
討にあたっては、桑折  
町との共同設置の協議  
も予定しており、来年  
度中にチーム体制を整  
備し、平成29年度から  
開始したい。







松浦常雄議員

# Q 平成28年度予算編成の基本方針は

## A 各種計画に位置付けされた施策を具現化する

**問** 平成28年度の予算編成について、町が抱えている課題は何か。

ある。さらには、今後10年におよぶ「歴史まちづくり計画」の具体的な整備の推進、「人口ビジョン」「地方版総合戦略」の具体的な推進などが、早急に取り組んでいかなければならない課題と認識している。

**問** 平成28年度の予算編成の基本方針は。

国の集中復興期間が今年度で終了し、これまで以上に財源確保が厳しい状況が想定される。「第5次国見町振興計画」「人口ビジョン」まち・ひと・しごと創生総合戦略」など各種計画に位置づけされた施策を具現化するため、あらゆる方策を講じ財源確保に努めることなどを念頭に置き、新年度の予算全体の組み立てを行っていく。

**問** 町政を推進していく財源をどのように確保するのか。

**総務課長** 震災以降、除染対策にかかる国・県支出金の割合が増加し、財政規模は膨らんでいるが自主財源総額はほぼ横ばいである。各種事業の取り組みについては、国・県支出金が充当できる事業で対応し、起債についても交付税措置のある有利な起債を充当できよう努力したい。

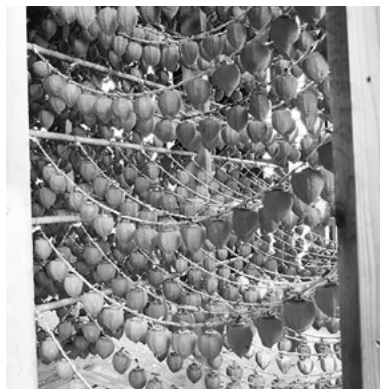
### 農産物の今年の出来具合と風評被害対策は

**問** 今年度のあんぽ柿の生産見込み数量と価格、および昨年度との比較は。

格で比較すると、まず出荷量は、平成22年の203トンに対し平成26年が66トンで約33%の実績、今年度は95トンで約47%の出荷見込み。26年度と27年度を比較すると、約44%の増加見込みである。

**問** 農産物の風評被害は、弱くなっているものがあるのか。

価格は、平成22年度産のキロあたり153円に対し、平成26年度産が1423円で約7%の減。今年度は出荷が開始されたばかりだが、概ね昨年度並みと聞く。



あんぽ柿も産地再生に向けた取り組みが進む

**産業振興課長** まず、各種農産物の放射線対策を徹底的に実施し、安全安心を担保している。また、トップセールスなどを通して町産の農産物の安全安心やおいしさを対外的に積極的にアピールし、風評被害対策に取り組んでいる。

**産業振興課長** 震災前の出荷量と価格を比較すると、まず出荷量は、平成22年の203トンに対し平成26年が66トンで約33%の実績、今年度は95トンで約47%の出荷見込み。26年度と27年度を比較すると、約44%の増加見込みである。

※その他、以下のような質問がありました。  
・桃のせん孔細菌病の対策について  
・今年度の米の生産高と1俵当たりの価格の見込みと低価格への対策について

**Q** 立派な新庁舎にふさわしい  
職員の対応が求められるが

**A** 研修などを通し町民目線で  
対応するよう指示する



佐藤定男議員

**問** 新庁舎での業務が開始されて半年が経過し、立派な庁舎にふさわしい職員の対応が求められている。  
窓口での初期対応や担当への取り次ぎなど、職員の教育・指導はどのように行われているのか。

**総務課長** 新規採用職員への前期末期の研修受講、2〜4年目の職員に対する住民サービス向上のための接遇実践講座、さらには、不定期ではあるが、役場内で臨時・嘱託職員も含めた接遇研修を行っている。

**町長** 町政運営の基  
本的な考え方は町民主役の町政であり、常に町民目線です。総合案内や町政全般について相談できる町民相談室を設置し対応してきました。さらに、町民の身になって町民の思いを表現できるように日々指示をしている。就任当初からみると職員の町民に向かう姿勢がかなり良くなっていると実感している。  
引き続き、町民の気持ちになつて対応することを継続し、パフォーマンスは高いがベストな対応をしていきたい。

**町道・林道の整備に具体的な対応を**

**問** 町道整備など  
の要望に対する  
回答は示されている  
が、いつまでにやる  
など具体的に回答でき  
ないか。

**建設課長** 東日本大震災後、住宅除染が喫緊の課題であり、復興プロジェクトを最優先に取り組んできた。先に取り組んできた。修繕工事などは通行に及ぼす危険性や利用頻度を勘案し、優先順位を付けて対応してきた。実施時期などはなかなか明言はできないが、震災復興のめどが立つ平成28年度以降において積極的に対応していきたい。

**問** 復興の兆しが  
見えているとい  
うことで、今後は今

でより町内会の要望に応えた形で整備を進められるのか。

**町長** 来年度以降、  
事業を実施する  
ために、先を見据えて  
すでに公共関係の基金  
も作っている。また、  
町と方部会で連携しな  
がら案件に優先順位を  
付け、取捨選択をして  
もらって執行するよう  
システム化ができない  
かとも考え指示してい  
る。今後なるべく町内  
会の皆様の意に沿うよ  
うな対応をしていき  
たい。

**問** 林道・北口線  
はここ数年草刈  
りなどがなされず、こ  
の夏は路肩の白線が見  
えないほど危険な状態  
だった。毎年予算化し  
て安全な通行の確保に  
努めるべきではない  
か。

**総務課長** 現在、導入に  
向けて制度の内  
容について検討を行っ  
ており、平成28年4月  
から実施できるよう準  
備を進めている。  
人事評価の基本的な  
仕組みは「能力評価」  
と「業績評価」の2本  
立てで実施し、最終的  
には人材育成につな  
がる制度と考える。

**産業振興課長**

町の厳しい財政事情から、林道の管理上、危険であると考えられる箇所について優先的に対応している。

**人事評価制度をどう進めていくのか**

**問** 平成28年4月  
から人事評価制  
度が導入される。導入  
に向けた状況と評価方  
法について伺う。

**総務課長** 現在、導入に  
向けて制度の内  
容について検討を行っ  
ており、平成28年4月  
から実施できるよう準  
備を進めている。  
人事評価の基本的な  
仕組みは「能力評価」  
と「業績評価」の2本  
立てで実施し、最終的  
には人材育成につな  
がる制度と考える。

# Q 今後の防災訓練はどう進めていくのか

## A 総合的な訓練も実施するなど多くの町民が参加できる訓練としたい

**問** 今後の防災訓練は地区ごとで行うのか、全体で総合的に行うのか。また、開催時期について具体的な案はあるのか。

今後の防災訓練は、地区ごとで行うのか、全体で総合的に行うのか。また、開催時期について具体的な案はあるのか。

**町長** 今年度の取り組みを十分総括し、数多くの町民が参加できる効果的な枠組

今年度の取り組みを十分総括し、数多くの町民が参加できる効果的な枠組

**問** 防災訓練に対する町民の意識を向上させるにはどうするのか。

**住民生活課長** 地域のつながりを深め、地域の防災力を高める大切な機会である防災訓練に、積極的に参加してもらえよう

地域のつながりを深め、地域の防災力を高める大切な機会である防災訓練に、積極的に参加してもらえよう

**問** 新庁舎での防災訓練などはどうしているのか。議場も考え、議員を含めた避難訓練を実施するべきだと思いがいかがか。

新庁舎での防災訓練などはどうしているのか。議場も考え、議員を含めた避難訓練を実施するべきだと思いがいかがか。

**総務課長** 12月18日に消防訓練を実施するべく進めている。議場などそれぞれの職務の場所からの避難経路の図も示しながら、安全に避難できるように体制を組みたい。

**問** 子どもたちの地域防災参加についてどのような考えを持っているか。

**教育次長** 地域での防災訓練などに参加することで、自分の地域の危険と備えについて知識を自然に身に付けられるため、防災意識の高揚が図られる観点から子どもたちも参加できるように学校、関係課、関係機関と連携を図っていききたい。

地域での防災訓練などに参加することで、自分の地域の危険と備えについて知識を自然に身に付けられるため、防災意識の高揚が図られる観点から子どもたちも参加できるように学校、関係課、関係機関と連携を図っていききたい。

ペットボトルを利用した工がある。授業やわんぱく広場で工作することで、防災意識、想像力の向上につながるのではないかと。

### 教育長

子どもたちの想像力を働かせいろいろな経験をする中で、おおいに防災意識の向上につながると思う。

### 問

**最低限** 自分たちの食料を日常的に常備させるように

東京都オリジナル防災ブックの中に身近な素材の活用術として紙バックや

進すべきではないか。

### 住民生活課長

「防災マップ」だけでなく、全戸に配布されている「防災の手引き」や「災害と自助」で、まずは自分の身を守るために、家庭での備蓄は3日分程度を目安にお願いしている。町民の皆様と連携しながら「災害に備える」という意識の高揚を推進していく。



救命救急についても真剣に学ぶ(小坂地区)



渡辺勝弘議員

## Q 都市部の人に住みたいと思っ まちづくりへの考えは

## A 様々な交流を通じて好評価に つなげたい



村上正勝議員

**問** 当町は国道4号線、インターチェンジ、サービスエリア、東北本線の藤田駅と貝田駅があり、交通の便利さがある。また、藤田病院もあり、安心して住める町であると考えている。

**町長** 利便性の高い立地と藤田病院があることは町の強みであると考えている。今後、10月に策定した「国見町まち・ひと・

しごと創生総合戦略」の各種プロジェクトの具現化を図り、人口減少対策につなげる。また、各種イベントなどでの様々な交流を通じて付加価値を付けていくことで町が認知され、国見町はすばらしいという評価につながると思う。そのため視点としては交流連携だと思ふ。桑折町をはじめとする近隣市町村、人口4千万人の首都圏、そしてニセコ町や池田町などの友好都市との連携が欠かせない。これは町民みんなの協働が必要である。「オール国見」で今後

10年、20年、あるいはこれ以上かかるかもしれないが、国見町に住みたいと思う魅力あるまちづくりを進めていきたい。

## 町の活性化のため にふるさと納税の 活用を

**問** 当町は一般財源の少ない町であり、財源確保に大変な努力をしている。ふるさと納税は、使い道を選択できる利点があり、町おこしにつながる財源ではないかと考

える。町の活性化のためにも、今後新たな財源としてふるさと納税に取り組み考えがあるか伺う。

**総務課長** 町では、震災後の農産物の風評被害対策の観点から、ふるさと納税制度を活用しておいしい農

産物を贈呈するとともに、「国見町へ寄附したい、貢献したい」という人々の掘り起こしと「応援団」を確保するために実施してきた。取り組みの趣旨を考慮し、逸脱しないように取り組んでいきたいと考えている。

しかし、一般財源の確保は町の命題でもある。現在交流のある自治体とのふるさと産品の交流や道の駅開設後の取り扱い産品も含めて、贈呈産品の拡大を行的財源確保につなげたい。

## 問

ふるさと納税についてマスコミでも度々報道されているが、町

としてはふるさと納税をどうPRしていくのか。

**総務課長** ふるさと納税の設立の趣旨から逸脱せずなるべく一般財源として寄附を集められるように、東京くにもみやそれぞれが知人・友人に自己PRをすることなどを含めて、納税額の確保に努めていきたい。



応援団ツアーでも国見の良さをPR

# Q 地方版総合戦略の策定の経過は

## A 住民参画も図り策定にいたった

### 問

「国見町まち・ひと・しごと創生総合戦略」が策定され、今後の町が目指す方向性が示された。策定に当たり、幅広い年齢層の住民、産業界や関係行政機関など広く関係者の意見を反映させることが重要とされているが、策定までの経過の概要を伺う。

### 町長

本年1月にまち・ひと・しごと創生総合戦略策定本部をいち早く立ち上げ、4月には「総合政策室」を設置した。6月に立ち上げた有識者会議で総合戦略の策定に向け検討してきたところ。

併せて、シンポジウムや講演会、子どもたちによるワークショップ

プの開催、町民意識調査の実施などを通して住民参加を意識してきた。

こうした取り組みの結果、10月29日に町の地方版総合戦略の策定にいたった。

### 問

策定費用は国で負担するものだが、早めの策定であれば上乗せ支給もあ

り得るとの情報もあるが、実のところはどうなのか。

### 企画情報 課長

上乗せ支給については、タイプIとタイプIIがある。

まずタイプIIは、10

月までに総合戦略を策定した場合1000万円が交付されるもの。タイプIは、先駆的事業と認められた場合に交付されるもの。町はその双方にエントリし、先駆的事業との評価を受けたことから、総額3100万円の交付決定を受けた。

### 問

計画の策定にあたって、町として重点的に考えたのはどのような部分か。

### 企画情報 課長

国の示しもある、地方で安定的な雇用を作り出すこと、首都圏から地方への人の流れを作り出すこと、子どもを出産し子育てをするという希望を叶えること、地域と地域を結ぶコミュニティやネットワークを作る

ことの4つ。特に農業に力を入れ、子育て世

### 問

新型交付金

は、既存事業と異なり住民負担の軽減には充てられないなどの縛りがあるが、どのように考えるか。

### 企画情報 課長

交付金は、綱に「地方版総合戦略の策定に係る事業および地方版総合戦略に位置付けられるもの」との規定があり、目的外の事業への充当はできない。

### 問

多数の項目があるが、例えば人口増との関連で、子

### 企画情報 課長

総合戦略でも子育て支援は重要なプロジェクトとして位置付けており、様々な可能性を追求し、人口減少の抑制につながる取り組みとなるよう進めたい。

育て支援に重点を置くなどとした政策の展開はできないのか。



「地域の食」をテーマに  
お母ちゃんの座談会を開催



浅野富男議員

## 「女性の傍聴者が増えて良い傾向」

12月議会を傍聴したみなさんから感想をいただきました。

(アンケートへのおもな回答)

- 改選後から女性の傍聴者が増え良い傾向だ。(70代・女性)
- 傍聴者が多数で驚いた。有意義だったので今後も参加したい。(女性)
- 議会だよりでは出来レース的な印象があったが、そうでもないことが伺われて良かった。答弁内容に基づいての実施の有無の検証方法があるか知りたい。(60代・男性)
- 初めて新しい議場に入ったが、木材が横に積まれたようで物置か倉庫の中で議会をしているような感じがした。(60代・男性)
- 来庁者への職員の対応について質問した議員さんがいたが、私は皆さんとても挨拶が良いと感じている。(70代・女性)
- 一般質問について、同じ人ばかりでなくみんながやれば良い。(不明)
- 介護を要する高齢者が多いので、町でも喫緊な課題として対策に真剣に取り組んでほしい。(80代・男性)
- 議会報告懇談会の参加者が少なく驚いた。実施日について充分考慮してほしい。(60代・男性)
- 太田町政の基本は「みんなみんな～オール国見」であり、議員は町民の代表であることを改めて自覚してほしい。町職員は一人一人が「人財」なので、健康に留意し尽力いただきたい。(60代・男性)
- アンケートの検証・具現化を図ってほしい。(80代・男性)



傍聴に  
一般質問はたくさんの方が



当日は200人以上の議員が参加

て記事を作成し、議場を訪れたい。なる広報誌を目指して今後も作成にまいりましてまいります。

(報告者  
渡辺勝弘、  
村上二)

10月20日と21日の2日間、東京都のシェンバツハ・サポーで全国町村議会広報研修会が行われました。今年6月から広報委員会が常任委員会となり、「くのみ議会だより」をより見やすく、わかりやすく作成できるように、研修してきました。

議会だよりを通して議会を理解してもらえよう、町民の目線に立って改善していくことを大切にしたいと思います。どう伝えるかではなく、「どうしたら伝わるか」を考

## 誰にでも「伝わる」 広報誌づくりを目指して

全国町村議会広報研修会



地方創生について解説を受ける

10月22日、郡山市のビッグパレットふくしまで県町村議会議長会主催の議員研修会が開催され、全議員で参加してきました。

『人口減少社会の自治体議会へ合併の回顧、地方創生「生涯活躍のまち」について』『今後の政局・政治展望』と題して、それぞれ講師よりご講演をいただきました。

町村議会  
議員研修会

## 一部事務組合報告

※一部事務組合とは  
複数の市町村が、事務の一部を共同で行うために設置する団体。

### 原賢志議員(桑折町)が副議長に選任

藤田病院組合議会

10月26日、第3回議会定例会が開催され、副議長選任と平成26年度の決算認定が行われました。

副議長は、議長の推薦により桑折町の原賢志議員が選任されました。

平成26年度決算認定では、平成26年4月の診療報酬の改定により厳しい状況の中、事業努力により5748万円の黒字計上となりました。

### 平成26年度決算認定

#### ◆収益的収支決算額

収入 67億1503万円  
支出 59億8718万円

#### ◆資本的収支決算額

収入 1億8458万円  
支出 5億3229万円  
(収支差引不足分は、過年度分損益勘定留保資金で補いました)

(報告者 志村良男)

### 渡辺勝弘議員が副議長に選任

伊達地方消防組合議会

10月23日、第2回議会定例会が開催され、当町議会の渡辺勝弘議員が副議長に選任されました。

また、平成26年度の決算認定のほか、南分署冷暖房設備工事や西分署防水工事等にもなう平成27年度補正予算など4件が審議され、すべて可決されました。

### 平成26年度決算認定

収入 24億12万円  
支出 23億7615万円  
(報告者 村上正勝)

## 議会の動き

12月8日	12月議会定例会(～11日) 総務文教常任委員会、産業建設常任委員会
12月9日	議員懇談会、広報常任委員会
12月11日	総務文教常任委員会、議会運営委員会、議会全員協議会
12月13日	観月台文化センターホールリニューアルに伴うオープニングセレモニー
12月15日	東日本大震災復旧復興対策推進国見町民会議役員会 商工会法施行55周年記念永年勤続優良従業員表彰式 新酒「国見あつかしさん」発表・宴の会
12月17日	義経まつり第4回実行委員会、叙勲・各種表彰受賞祝賀会
12月21日	伊達地方衛生処理組合議会全員協議会・臨時会 伊達地方衛生処理組合議会議員視察調査(宮城県～22日)
12月22日	福島地方水道用水供給企業団例月出納検査(福島市)
12月23日	あつかし山ビッグツリー点灯式
12月24日	例月出納検査
12月25日	東日本大震災復旧復興対策推進国見町民会議
1月4日	永年勤続町職員表彰式
1月5日	広報常任委員会、交通三団体交通安全祈願祭
1月6日	年始知事懇談会(福島市)
1月7日	「明日へ。復興・きずなイルミネーション」クロージングパーティー
1月10日	町消防団出初式、町成人式、国見地区建築業組合定期総会
1月12日	広報常任委員会
1月13日	議会運営委員会、全員協議会、第1回議会臨時会、議員懇談会
1月15日	道の駅建設工事安全祈願祭、広報常任委員会
1月20日	地方創生「小さな拠点」づくりフォーラム(東京都)
1月21日	議員懇談会、総務文教・産業建設合同常任委員会
1月25日	例月出納調査 福島地方水道用水供給企業団例月出納検査(福島市)
2月8日	議会行政調査(岐阜県池田町～9日)

### 議長に佐藤栄三議員(桑折町)、副議長に菅野喜明議員(伊達市)を選任

伊達地方衛生処理組合議会

10月23日、第2回議会定例会が開催され、議長に佐藤栄三議員(桑折町)、副議長に菅野喜明議員(伊達市)がそれぞれ選任されました。

また、平成26年度決算認

定、平成27年度補正予算など9件の議案が審議され、すべて可決されました。

### 平成26年度決算認定

歳入 36億9164万円  
歳出 36億7394万円  
(決算額は一般会計、し尿処理事業特別会計、ごみ処理事業特別会計の合計)

(報告者 浅野富男)

## 議会傍聴をしてみませんか

次の定例会は**3月3日**開催予定です

受付簿に住所・氏名などを記入するだけで気軽に傍聴できます。また、議案審議がわかりやすくなるよう、傍聴者には議案資料を提供します。

詳しくは議会事務局へお問い合わせ下さい。  
TEL 585-3295(直通)

## 「道の駅」に期待

国見の道の駅の工事が順調に進んでいる様子を見るたび、オープンの日を待ち遠しく思っております。

去年の10月末、宮城県鳴子から花山温泉方面への旅行があり、初日に鳴子温泉の近くにある「あ・ら・伊達な道の駅」で休憩をとりました。月曜日でしたが車がいっぱいで、警備員も2〜3人いて何かイベントでもあるのかなと思うくらいでした。入ってみると特にイベントをやっている様子はありませんでしたが、とにかく人がいっぱい歩くのも大変なくらいでした。レストランは待ち時間が10何分かあったと思います。特に混雑

していたのが野菜果物コーナーで、観光客と思えるような人も買った物かごを持って買っていました。

次の日の帰り道、休憩のために同じ道の駅に寄ることになりました。そこでまたびっくりです。昨日と同じ状況なのです。平日の火曜日なのに思ったので従業員の人の聞いてみたら「さすがに冬は少ないですが毎日大体こんな感じですよ」という答えでした。

短い時間だったのでそれほど詳しく観察はできませんでしたが、新鮮さは当然のこと、ここには何か他にはない魅力があるはずだと思いました。やはりシーズンを通して商品が途切れない、そこにしかない特徴・目玉商品がある、そしてイベントがありました。国見のインターを降りてわざわざ行きたくなる「道の駅」になって欲しいと思います。



安孫子 正  
(泉田上町内会)

### 岩手県岩泉町

## 他町議会が来町

### 福岡県添田町



添田町議会・産業厚生常任委員会のみなさんと

## 庁舎建設などについて 遠方から視察に

10月21日に岩手県岩泉町議会が庁舎建設の件、11月4日に福岡県添田町議会が庁舎建設とまちづくり会社の運営の件で視察に来町されました。

当町議会からは東海林二樹議長、阿部泰藏産業建設常任委員長が同席し、庁舎内の見学などで交流を図りました。

## 編集後記

明けましておめでとございます。希望に満ちた新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。12月定例会では補正予算他、5つの条例案、陳情1件、工事請負契約1件が議案提出され、いずれも可決されました。

一般質問では6人が登壇し様々な角度から町政をただしました。傍聴者は25人と以前より多くなっており、質問者の励みにもなっています。「議会だより」では伝えきれない臨場感を味わうことができると思いますので、ぜひ足をお運びください。

今年「道の駅」の建物工事が始まり、その姿が目に見えて具体的になってきます。大変楽しみです。

皆様の今年一年のご健勝をお祈りいたします。(佐藤 定男)

### 広報常任委員会

- |      |       |
|------|-------|
| 委員長  | 渡辺 勝弘 |
| 副委員長 | 佐藤 定男 |
| 委員   | 浅野 富男 |
| 同    | 阿部 泰藏 |
| 同    | 松浦 常雄 |
| 同    | 村上 一  |

